

## 授業実践から学校全体で取り組む課題を明らかにする

■目的 学習指導要領では、主体的・対話的で深い学びの視点からの学習過程の改善が求められています。各自が授業改善を実践していく上で実感した課題には、どのようなものがあるでしょうか。授業改善の実践から生まれた課題の共有を目指すとともに、学校全体で取り組んでいく課題を明らかにする研修会です。

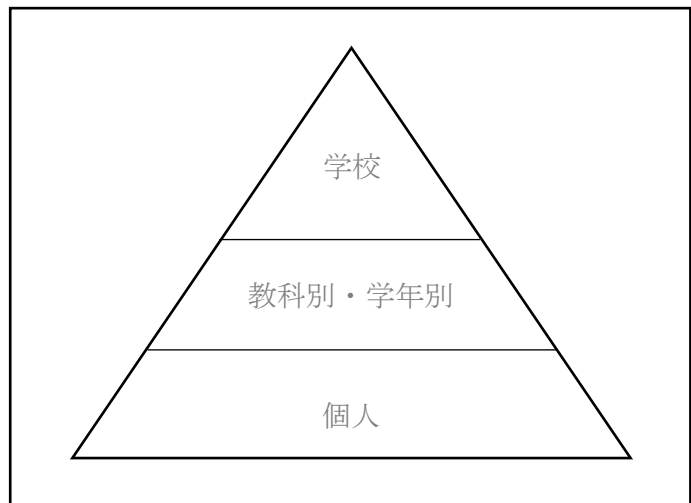
■対象 校内（グループ）

■時間 30分

■形態 グループ→個人  
※グループの分け方：3人程度のグループ編成  
(例) 教科・学年・経験年数を混在させて編成

■準備物 付箋（水色：人数分×事前配布用・当日用に各5枚程度　ピンク色：人数分）  
色フェルトペン（グループ数）  
黒サインペン（人数分）  
ピラミッドチャート  
パワーポイント資料（人数分）

・ピラミッドチャートを  
A3に拡大印刷し、各  
グループに配布する。



### ●研修前

- 協議の際のグループをあらかじめ編成しておく。
- 各グループでの進行役を決めておく。
- ワークシートを配布し、各自で研修の目的と流れについて確認しておく。
- 各自が授業改善を実践する上で課題と捉えていることを水色の付箋に記入しておく。  
付箋記入時には、次の点に留意する。
  - ・1枚の付箋に1項目
  - ・単語ではなく単文で
  - ・名前を記入

## ●研修

流れ	進め方	留意点等
<b>1 研修の説明</b> <b>【グループ】</b> （2分）	○目的と流れについて説明する。  ○各グループの担当者が進行する。	○目的は上記「 <b>■目的</b> 」参照 ○流れは左欄「 <b>流れ</b> 」参照  ○日々の授業改善について、各自が課題と捉えていることをグループで共有することを伝える。 ○授業改善を実践する際の課題について考え、教職員間で共有する研修会を目指す。
<b>2 協議</b> <b>【グループ】</b> （25分） ① 発表  ②協議	○進行役は発表者の意見について、肯定的に捉えるよう参加者に伝える。  ○各自が課題として捉えていることについて、整理しながら共有する。  ○全体で共有したいものは何か協議する。	○グループの分け方は上記「 <b>形態</b> 」参照 ○授業改善の実践について、その具体的な内容とともに、あらかじめ付箋に記入してきた実践上で「課題として捉えていること」をピラミッドチャートの一番下の段に「なぜ課題と捉えたのか」説明をしながら貼る。  ○内容としては次のようなものが考えられる。 ・学習環境 ・予習のあり方 ・教材研究 ・主体的・対話的で深い学び ・授業の見とり方 ・単元計画 ・観点別評価 等  ○各自が出した課題について、学年で取り組みたいもの、学校全体で取り組みたいものは付箋を移動させながら整理していく。 ○各自が課題と捉えているものの共有が目的であることを確認する。 ○課題としてさらに思いついたものがあれば追加していく。 ○学校全体で取り組みたい課題を決める。その際にそう考えた根拠を用紙上に書き出す。
<b>3 省察</b> <b>【個人】</b> （3分）	○授業改善における課題について、協議を通して考えたことをピンク色の付箋に書く。  ○ピンク色の付箋をピラミッドチャートに貼り、研修担当者に提出する。	○付箋には名前を記入する。 ○付箋に名前を記入するのは、各自が課題と捉えていることを全体で共有するためであると説明する。  ○各グループで出された課題は、全体で共有する。

## ●研修後

- 研究主任等は、回収した付箋の内容を精査し、全体へ伝える。
- 全体での共有には、以下の方法が考えられる。
  - ・職員室等への掲示
  - ・校内ネットワーク上の共有フォルダへの保存
  - ・研究通信等として配布